

# 一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例市議会で、市政全般に対する質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。今定例会では、20人の議員が一般質問を一問一答方式で行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要です。



一問一答方式とは、議員席前の質問席から、執行部に対面して行います。質問の制限時間は40分(答弁は含まない)で、通告した順番の件名ごとに、1回目は総ざらい質問・答弁とします。2回目からは一問一答で、制限時間内に何回でも質問ができます。

# そこがききたい



▲ 秋の旬の味覚、サンマを両手いっぱいにつかみ取り

## 市民への アスベスト対策は

中名生 隆 議員

議員 アスベストを吸うことにより発生する病気は、肺ガン、悪性中皮腫、石綿肺等があります。アスベストの原石は繊維状の特徴があり、髪の毛の5千分の1ぐらいで、とても目には見えない状態で、肺に入ると細胞を刺激し、病気を引き起こします。悪性中皮腫は非常に進行が早く、診断されてから2年以内で亡くなる場合がほとんどです。アスベストは熱や



▲ 市内学校もアスベストの調査を実施

総務部長 7月に設計書及び目視等により再調査を行い、該当する担当課での第1回アスベスト対策検討会議を開き、早急に専門業者により調査分析を行い、分析の結果を見て、施設担当で対応していきたいと考えています。調査の結果や今後の対応及び市や県の問い合わせ先等は、関係各課と協議の上、「広報戸田市」や「戸田市ホームページ」へ掲載を考えて迅速に対応し、十分検討していきます。

教育部長、消防長、医療保健センター事務長、都市整備部長 各所管の関連部分をつけて答弁。

議員 高齢者を火災から守る目的で、全国的に住宅用火災警報器の設置が推進される状況下で、家庭の天井や壁に警報器の設置をするときに、アスベストの飛散や暴露条件が重なる危険性があります。じん肺用簡易マスク、メガネ、ビニール手袋等を使用して、アスベストを吸引しない対策を、様々な角度から総合的な対策と提案をいたします。

### 一般質問

## 神保市政

### 2期目の自己評価と 3期目出馬の意向は

秋元 良夫 議員

議員 神保市政が誕生し2期8年目を迎え、この間に本市は急速に発展してきました。新たな課題への挑戦と時代の要請に対する迅速な取り組みを基本戦略とする神保市政のまちづくりにより、多くの市民は、「戸田市は大きく変わり、住みよくなつた」と感じることも、更なる発展を期待しています。

そこで、市長自身による市政2期目の自己評価と、3期目の市長選に向けて、出馬の意向と市政に臨む決意を伺います。

市長 1期目は「改革」2期目は「築く」を目標に市政に取り組み、パ



▲ 住みよく更に発展していく戸田市

1トナリーシップによる行政運営、電子市役所の構築、効率的な行政システム構築、地域通貨を通じたネットワークづくり、快適で美しい環境づくり、ユニバーサルデザインのまちづくり、福祉・保健・医療サービス体制の充実、文化都市の構築、産業振興の基礎づくり、個性と国際感覚を伸ばす教育など、未来へつなげる本市の基礎を固め、着実に前進することができたと自負しています。

次は「飛躍」を目標に掲げ、新曽土地区画整理、新曽中央地区都市整備、北戸田駅前再開発、安全・安心なまちづくり、教育環境の整備、障害者福祉、高齢者福祉、子育て支援、環境問題など、各分野にわたる行政課題の更なる取り組みを進めます。三位一体改革が推進され、地方自治の真価が問われ、本市が未来に向けて大きくはばたき躍進するこの大切な時期に、より一層の行政改革を進め、11万市民のため、ふるさと戸田市のため、汗を流すことが使命と考えています。



議員 本市は現在、市営住宅を2・4室保有しています。空き室が出て募集をす

▲ 市営住宅は入居希望がとても多い現状です

れば、その応募倍率は10倍から60倍となり、なかなか入居できない状況です。入居できた人の実績をみると応募者の10分の1。大半の人は入居できません。入居できた人は幸いですが、多くの入居できません。入居できた人は幸いですが、多くの入居できません。入居できた人は幸いですが、多くの入居できません。

多子世帯の若いファミリーに住んでもらえばいいのはありませんか。都市整備部長 公営住宅法に基づいて市営住宅を建設していますが、従来の直接建設型による供給は大いに検討の余地があります。今後の住宅計画については、平成18年度からの次期住宅マスタープランを今年度策定中です。これに当たっては、財政、人口の動向を見ながら、効率的・長期的視野で進めていきます。

## 住居費困窮世帯に 家賃補助を

神谷 雄三 議員

希望する人の大半が入居できるのであればいいのですが、一部のしか入居できないのであれば、市営住宅だけが本市の住宅施策であってはならないと思います。例えば、一人暮らしの高齢者が不十分な年金などで民間賃貸住宅やアパートで生活している方々に家賃補助制度を設ければ、少ない費用で多くの市民に住宅の安心を与えられるのでは

ありませんか。都市整備部長 「住宅切符」の導入は、多様な方策の中で極めて斬新な考えと受けとめさせていただきます。

※「アスベスト」=天然に産する繊維状の酸塩化物で、繊維が極めて細かく、肺に入ると病気を引き起こす